

## 第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成してください

保険者名	貴自治体において第8期介護保険事業計画に記載している内容						令和5年度(年度末実績)					公表の状況	
	項目名	細目名	目標を設定するに至った「現状と課題」	第8期計画における「取組」	「目標」(事業内容、指標等)	中間見直し	取組の具体的な実施内容、実績	自己評価	評価の理由	課題と対応策	実施状況	公表の方法	
上尾市	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防・重度化防止の推進	医療と介護を必要とする高齢者ができる限り自宅等の住み慣れた地域で療養し、自分らしい生活を続けられるように地域包括ケアシステムの深化・推進が求められている。そのためには、在宅医療と介護の連携が課題。	在宅医療・介護連携に関する市民向け講演会や、上尾市医師会・上尾伊奈地域薬剤師会・居宅介護支援事業所等と連携し、多職種によるグループワーク等の研修を実施。また、在宅診療を行う医療機関等をまとめた在宅診療マップを配布。	介護保険サービス利用者で在宅生活をしている高齢者の割合 78.7%⇒79%	なし	在宅サービス利用率 80.0% 医療介護地域連携会議 11回 市民講演会 1回 専門職研修会 1回	○	サービス利用の選択は個人によるところではあるが、少なからずコロナ禍を経て、在宅需要は増えたと思われる。それを踏まえて利用希望に添えたであろうことが読み取れるため。	引き続き在宅生活する高齢者が増加するよう、講演会等の実施により在宅医療と介護の連携を進めていく。	実施	総合計画策定時に掲載	
上尾市	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防・重度化防止の推進	令和元年度の高齢者実態把握アンケートによると、介護予防のための通いの場への参加率が一般高齢者では3.6%となっており、かなり参加率が低い状況。	地域の通いの場に対し、補助金を交付することで、通いの場の実施数を増加させる。	地域における通いの場の実施数 193団体⇒196団体	なし	地域の通いの場に対する補助金を拡充した。 実施団体数 通いの場 83団体 だんらんの家 85団体 合計 168団体	×	新型コロナウイルス感染症拡大のため、通いの場が開催できず、また、令和3年度には市主催から住民主体に変更したため、実施団体数が激減し、目標を達成できなかったため。	R5では、以下の取組みを実施した。 ①リーダー養成講座を実施。 ②既存団体の一覧を公表することでアップリー元気体操等に参加したい方に向け周知 ③既存団体に対しては、ステップアップ情報交換会を開催することで、団体活動の向上及び団体間の情報交換ができる場を設け、伴走型の支援を実施 今後も、以上の取組みを継続して実施することで、通いの場の実施団体数の増加を目指す。  だんらんの家については、参加者の減少・役員の担い手不足が課題となっているため、対象年齢を広げるなどして、人員増加を目指す。	実施	団体の活動団体一覧を市HPで公表	
上尾市	②給付適正化	介護給付の適正化の推進	高齢者数は年々増加し、見える化システムによる推計では、年度ごとに約10億円の総給付費の増加が見込まれている。	ケアプランの点検数を増加させる。	ケアプランの点検実施数 63件⇒100件	なし	ケアプランの点検実施件数 18事業所×3件=54件	×	事業所現地での運営指導に併せて実施したが、目標件数に達しなかったため。	居宅介護支援事業所の過度な負担にならないよう運営指導に合わせた必要最低限でのケアプラン点検件数で推移していく見込みである。	未実施	市HP公開を検討	